

スーパー御庭番の達人たち…⑨

御庭番ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートするこのシリーズ、
今回は、社長が全幅の信頼を置くベテランプランナーの提案テクニックと
名コンビを組む御庭番歴9ヶ月の“達人見習い”をご紹介します。

年間400件、毎日3~4パターンのプランを作成 手早く質の高い提案をつねに考えます

キャド歴は8年、そのうち御庭番は3年ほどです。御庭番のメリットは、なんといっても操作が簡単なこと。コマンドが少ないのでわかりやすいんです。ですから、キャドを使ったことのない初心者でも入りやすいと思います。そして、手早く一定のレベルのものができるのも魅力ですね。ほとんどのものは御庭番で描けますが、オリジナル製品や、屋根つきの建物などは、いろいろな部材を工夫して作成することもあります。また、たとえば植物が好きなお客様に、ハーブや果樹をふんだんに描き込んで提案するなど、お客様の心をつかむ演出も心がけています。当社は新規物件が年に400件を超え、1件ごと

に描き直しも含めてかなりの数の図面・パースを作成しています。たとえばこのお宅では（と書類の束を見せて=右の写真）13~14パターン描きましたが、そのぐらいは珍しくありません。ですから毎日平均3~4パターンは描いています。そのため、どうしたら余分な時間をかけずにデザイン性も機能性も高いプランを提案できるか、つねに考えています。基本的な部分はある程度パターン化して、バリエーションをたくさん用意し、それを組み合わせるなどして手早く作成、独自のアイデアをプラスアルファして仕上げる…というふうに。こういうことは手描きではどうにもなりませんが、御庭番は頼りになりますね。



スーパー御庭番の達人
株丸辰 工事部 マイエクステリア
二級造園施工管理技士
グリーンアドバイザー
唐澤みどり 様

達人見習い

即実戦のスバルタで1ヵ月で習得 早く達人のようにになりたい！

未来の達人
CADオペレーター
千葉順子様

3Dのキャドは御庭番が初めてで、現在使い始めて9ヶ月です。研修とか練習といった期間がなく、使いながら覚えなさいと“即実戦”で(笑)。なので、実際に図面を描きながら、わからないことはそのつど隣にいる達人に聞いて作業しました。おかげで1ヵ月後にはほぼ一人で描けるようになりました。私はまだ達人的な技術はありませんが、たとえばアールのついたスロープがバランスでうまく表現できないとき、目線を少し上からに変え高低差が目立つように工夫するとか、そのほか美しく見える光の当たり具合など、効果的な演出法には気を使っています。



御庭番のリアルな提案で“攻め”的営業を！

御庭番を導入したのは6年前。最初は私が使っていましたが、初心者の私にもほどなく使いこなせるようになりました。御庭番のおかげで提案にリアリティが生まれ、“攻め”的営業ができるようになって、ハウスメーカーの信頼も得られました。その後設計チームをつくり、御庭番を2台導入。彼女たちのプラン力には全幅の信頼を置いています。御庭番を活用することで、仕事の量も質も高まっていますね。



代表取締役
柴田 裕様

達人のテクニック

その1

複雑なデザインの屋根は 勾配を計算してつくる

最近は屋根のコマンドもあるんですが、普通の切妻などシンプルなものしかつくれません。なので、複雑な屋根は勾配を計算しながら1面ずつつくります。以前のキャドでつくったのを思い出して、「このへんでいけるかな…多分いけそうだな」と様子をみながら仕上げます。



達人のテクニック

その3

低予算でもセンスよく！ 土間コンを上手に減らすデザイン

たとえば土間コンクリートの面積を減らせば、その分コスト減になりますが、ただ縮小すれば中途半端になったり安っぽくなってしまいます。そこで、車の轍の部分だけコンクリートを打ち、十文字に芝生を敷いて、コンクリートの面積を減らしつつ、おしゃれなデザインに仕上がるよう工夫しました。



達人のテクニック

その2

オリジナルの機能門柱は 土間で角柱+製品を組み合わせて

柱は土間を使って1500mmの高さの角柱をつくり、間にポストをはさみます。ポストは縦型ポストの製品から取っています。インターホンの部分は、やはり適当な製品からインターホンを抜き出して、のっなりしないように茶色で濃淡をつけてはめ込みます。



達人のテクニック

その4

ブルーベリーやハーブ類を植えて 収穫して楽しむ生活提案を

シンプルなエクステリアは植栽をふんだんに入れて、四季の感じられる風景をつくります。このお宅のお施主様は植物がお好きだったので、実りを収穫できるブルーベリーなどの果樹や、ハーブティ用のハーブ類などを植え込んで、見た目だけでなく、料理したり食べたりして楽しめる生活提案をしました。

